

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 460

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	Tel. 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	Tel. 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	Tel. 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	Tel. 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	Tel. 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	Tel. 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	Tel. 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町 4-2-1 番地	Tel. 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	Tel. 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	Tel. 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	Tel. 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	Tel. 042-313-2217



四月三日入所式の日の午後に、こあら班とあんず班の合同で小金井公園にお花見に行きました。菜の花も咲いてきれいでした。

小金井公園で花見

あさやけ作業所

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



あさやけ 大好き

荒井 和美さん

(あさやけ作業所)



グループホームの職員になった時に入居者の生活を支えるとは、何を大切にしていくなのか、考えた。そして

- ・安心して生活でき、自分の居場所となれるように。
- ・本人に見合った自律をめざして。
- ・毎日仕事に通い、行きたい所に行ける等充実した生活が出来るように、ということを大切にやってきた。

初めの頃は食事を出して入浴、歯磨き、掃除、洗濯の支援をしてきたが、これで良いのだろうかという疑問が直ぐに沸いた。入居者が生活の主人公になり得ているのか、障害があるからとあきらめている(周りも、本人も)ことはないのかと。つ

くしんぼにいます手伝いが出来、やりたい人でもあったので、皆に食事づくりの手伝いをしてくれないかと提案した。「やりたい」の声が出て夕食時に野菜を切る、卵を割る等を手伝ってもらうようになり、今では味噌汁や目玉焼きが作れる人もいて、手伝いをした後は自信満々誇らしげ。皆で準備して誕生日を祝う、月見やおひなさま等季節ごとにリクエストがあり季節を感じることも生活の中に取り組んでいる。

入居者の生活を支えて

共同ホームつくしんぼ

仲川 理香

休日をどう充実して過ごせるか、皆が楽しみにしている外出先は、観光本を見て本人の希望、季節、興味等を合わせて一緒に考え決めている。その他の事では旅行に行きたい、一人暮らしをしたい、おしゃれをしたい等色々な要求が出てくるようになった。旅行は何処に何をしに費用は等を話し昨年度同行者の協力の元実現にこぎつけた。一人暮らしが長年の夢であった方は何年もの準備期間を経て昨春秋に念願の一人暮らしへ。

おしゃれをしたい方は五十歳過ぎて初のマニキュア「やりたかったんだよ」と。皆の要求(あれやりたい、行きたい、買いたい等)も次々出ていて、職員一人の態勢で応えていくことにアップアップしながらも喜びに なっているのも事実。

この他にも通院の関係、金銭管理のこと等業務の内容は沢山あり、関係機関との連携が必須の内容もある。入居者一人一人違いがあり、生活の上で必要な支援にも違いがある。そこを見極め、その人にとって必要なこと、ひとりひとりの生活が充実できるような、そんなグループホームで今後もありたい。

今回は、あさやけ作業所のうぐいす班に在籍している「荒井和美さん」を紹介します。

荒井さんは平成二十八年七月より週一回通所を始めました。市内にある入所施設「澄水園」で生活をしている荒井さんですが、あさやけに通う前から、他のメンバーであさやけに通う人を送迎する車が着くたびに「私もあさやけに行きたいの」と訴えていた荒井さんです。

職員と見学に来て、週一回の通所が実現しました。その後も毎日「あさやけに行きたいの」「なんで火曜日は休みなの」など熱いラブコールが続き、週二から三日にそしてこの四月から毎日通所となりました。その時の嬉しそうな顔で「ありがとう」といった笑顔が印象的でした。

小眼球という先天性の視覚障害がありますが、あつという間にみんなの名前を覚えた荒井さん。同じ班でなくても一度声を聞けば覚えるという特技。足音だけでもわかるからすごい。おしゃべりが

大好きで、朝着いて下駄箱のところから「今日のお昼ご飯は何?」「カラオケやるの?」と矢継ぎ早に聞いてきます。昼食を知らせる内線の音のまねをしたり、朝会で仕事の分担の希望を言うとき必ず、入れ歯をほろつと出してみせたり、仕事他突然「回っていい?」と聞いてクルクル回り出す、茶目つ気たつぷりな荒井さん。

仕事は熱心で、ないと「どうしてないの?」「やりたいのに」と訴えてきます。「一番大好きなのは箸の仕事。」「ひっくり返しやりまーす」と大きな声でアピール。クラブ活動では貼り絵が大好き。隣の部屋から聞こえてくるカラオケに合わせて熱唱。

ひっきりなしのおしゃべりに時にお姉様方?から苦言もありませんが(苦笑い)我、聞せずで今日も、荒井ワールド全開で通っています。

今、一番の関心事は「誕生日に電車に乗ってケーキを食べに行きたい」です。一緒に行きましょうね!

二〇一八年度法人本部事業計画

社会福祉法人ときわ会

一 法人基本方針

社会福祉法人制度の見直しに関する法案の確定に伴い、新定款による業務執行の研究と運営機能充実が求められている。また、少子化・高齢化の進行と同時に、障害者分野でも、この間の実践と理論の進展を受けて、あらためて受け止めるべき多くの課題が出されてきている。

とくに、社会福祉法等の改正に関する新たな取り組みは喫緊の課題として、取り組まなければならないが、改正法の背景とされる、ガバナンス(業務統治)、コンプライアンス(法令遵守)の基本となるべき考え方について実践的に検討を深める必要がある。

出されている課題は、いずれも、地域福祉の資源としての社会福祉法人として、国民的・市民的な支えを受けていく上で、避けて通れないものである。ときわ会としては、この動きに対応し、かつ、いつその発展を目指すための取り組みを今年度事業の中心として、以下の事項を基本に、重点を設定することとする。

二 運営事業

- 一 社会福祉法人制度見直しに対応する運営組織の確立
- 二 継続発展が可能な経営管理体制の確立
- 三 将来の発展を確立するための長・中期計画の確定
- 四 労働を軸とする日中施設の充実と、生活を軸とするグループホーム、相談事業を軸とする地域生活支援センターの経営の充実
- 五 安定した事業の推進と職員が安心して働ける労働環境の確立
- 六 地域、関係家族との連携
- 七 職員・関係者の基本的な人権感覚に関する研修と研鑽

二 運営事業

次の施設・事業を運営する。

○内は、施設長または、担当世話人である。

- あさやけ作業所 (中川 幸夫)
- あさやけ風の作業所 (増田 桃子)
- あさやけ鷹の台作業所 (西浦 孝幸)
- あさやけ第二作業所 (庄司 完)
- サングリーン (高見澤 一)
- 高見澤 一 就労B型支援・就労移行支援 (伊藤 善尚)
- 地域生活支援センターあさやけ (伊藤 善尚)

三 法人の役員体制

- 共同ホームこげら (中川 和子)
- 共同ホームつくしんぼ (仲川 理香)
- 共同ホームはやぶさ (植木 陽一)
- 共同ホームサンライズ (植木 忠理子)
- 共同ホーム一歩 (村上真澄)
- 共同ホームさらさ (村岡佐知子)

三 法人の役員体制

- (一) 評議員選任・解任委員三名
外部委員 宮崎 和美
事務局員 伊藤 善尚
監事 六戸 芳子
- (二) 理事 六名
加藤 寛二・庄司 完
田邊 敏郎・遠山 陽子
中川 幸夫・松本 喜和
- (三) 評議員 七名
伊藤 仁道・上田 幸子
島本 久・杉本 豊和
中島靖兵衛・萩野 晶子
山本 典子
- (四) 監事 二名
米田浩一朗・六戸 芳子

四 財政運営

- (一) 別添の二〇一七年度資金収支予算書案のとおり。
- (二) 法人本部予算案
- (三) 各施設(拠点)の予算案
- (三) 法人本部としての具体的方針案
- ① 新制度の下における運営資金の弾力運用について、将来の施設配置等を踏まえ、検討を深めるものとする。
- ② 長中期計画に対応する財政計画を作成する。
- ③ 退職金取扱いに関する法人の要綱に基づき、退職資金の確保を図る。

五 各施設の事業計画

別紙の議案のとおり。

六 年間行事と日程

- (一) 理事会
- (二) 新体制 二回

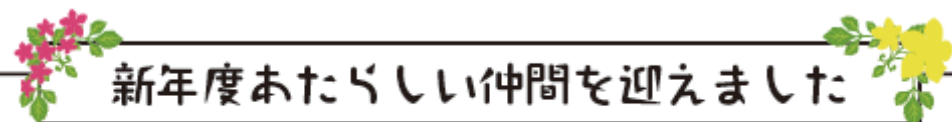
七 重点目標

- (一) 評議員会 二回
- (二) 評議員会 八回程度
- (三) 評議員会 二回
- (三) 状況により随時開催あり。施設長会議 年間十回 原則月一回
- (四) 主任会議 原則年間六回
- (四) 合同職員会議 原則年間一回
- (五) 合同職員会議 原則年間一回

七 重点目標

以下の項目は、第一項の基本方針のうち、今年度の課題として重点的に取り組むものを掲示したものであり、状況によっては理事会・評議員会にかけながら修正していくことがある。

- (一) 中・長期計画の策定
現在、第一次のまとめができていないが、二〇一八年五月までに成案を作成し職員等の討議に付することとする。
- (二) 管理運営体制の強化
時代に即した管理運営体制を確立するため、次のことを行う。
- ア 経営基盤強化のため、中・長期計画と合わせ、財務の中・長期計画を作成して方針を共有する。主として、運営費・施設整備計画を施設ごとに作成する。当面、二〇一八年度から積立金等の処理方針を確立する。
- イ 契約マニュアルを作成する。
- ウ 施設単位だけでなく、法人全体の運営を見通した管理規則を研究する。
- エ 組織運営の改善のため、定款細則の見直しを行い、執行役員・施設長の役割分担を明確化する。
- オ 法人としての規程集を本文の改定に合わせて、改定する。規程集に収録するのは、以下のとおり。
- カ 基本情勢をふまえ、財務・税務の正確な執行のため、外部から公認会計士等の顧問就任の依頼を検討し、事務処理に遺漏のないように対応する。
- (四) 就業規則・給与規程の見直し
職員数も年々増加し、そこで生起する労務問題はきわめて多様になつてきている。さらには、勤務条件も施設によりかなり違ってきたところも増えているので、就業規則の見直しが必要である。その際、次のような事項を労働組合等とも協議しながら、現状についての確認をし、より働きやすい事業体を構築していく。
- ・給与の見直し(都基準の不規則取り入れの見直し)と運用基準の見直し
- ・各種手当の見直しと運用基準の明確化
- ・考課制度の導入の可否についての研究
- ・なお、福祉職員処遇改善加算の拡充(ランクにより、月額一万円、三、七万円の増額)に伴い、次の事項に取り組む必要がある。
- ・職員の任用要件の改善
- ・昇給制度の見直し
- ・キャリアパス要件の就業規則への記載検討
- 以上に関する人事・給与制度の改善
- (五) 地域貢献の推進
・地域の福祉活動、研究活動等への積極的参加
- ・地域要求の研究と掘り起こし、対応
- ・地域活動計画の策定(事業の予算化を含む)
- (六) 職員の資質向上と人材確保
・職員の専門性の育成のための法人としての援助
- ・各種専門研修への参加、自主的グループ研究等への援助等
- ・先を見通した人材の確保の取り組み
- ・研修体系の確立と実行
- ア 新入職員研修
- イ 経験年数別による研修(たとえば、三年、五年、十年など)
- ウ テーマ別研修
・個人情報保護、特定個人情報情報に関するテーマ
・緊急時や災害に際しての対応に関する取り組み
・権利擁護(成年後見制度、虐待問題など)人権問題に関するもの
- (七) 制度改革に対応する当面の取り組みについて
・統治機能の向上、法令遵守の徹底
- ・定款変更、定款細則の改定、各種規程の点検、指導検査対応
- ・法人・施設の情報処理体制の確立
- ・運営問題での具体的課題
- ・法人事務局体制の確立、責任組織のあり方と人材配置の研究
- ・全体作業の把握と責任分担のあり方研究
- ・対外業務の推進・その体制
- ・労働基準監督署
- 行政対応(国、東京都、小平市)
- 以上



新年度あたらしい仲間を迎えました

あさやけ鷹の台作業所

2018年4月2日、鷹の台作業所で入所式が行われ、二人の仲間を迎えました。

羽村特別支援学校を卒業した森川有紗さんと、小平で一人暮らしをしている原太さんです。入所式では、メンバーが仕事や作業所生活の紹介をし、「来るのを待ってました。困ったことがあったらいつでも聞いてください」と歓迎の言葉がありました。これから、鷹の台の仲間と一緒に、仕事に行事に楽しんでいきましょう！

入所式をしてもらって嬉しかったです。仕事は楽しいです。封入などやっています。これからは給料を増やして、レクにも参加したいです。

原太さん

4月からお世話になっています。森川有紗です。人が好き、歌が好き、宝塚歌劇団が大好きです。皆さんと楽しく仲良くお仕事ができればと思っています。よろしくお願いします。

森川有紗さん



あさやけ作業所

初めまして！廣野一希です。

一希はこの春、清瀬特別支援学校高等部を卒業し、念願のあさやけ作業所の仲間に入れていただきました。12年間通い大好きだった学校を離れ、新しい場所でのスタートを心配していましたが思いのほかすんなりとけ込み、台布巾制作の「コアラ班」の一員としてたくさんの支援を受けながらお仕事も頑張っている様子を聞きホッとしています。

あさやけ作業所との出会いは高1の夏休み、実習やサマースクールで様々な仕事を体験させていただく中で、あさやけ作業所でなら一希でも、持てる力を発揮しつつ頑張り過ぎず・・・彼らしい生活が送れると感ずることができました。

外面が良く家以外ではそれほど大騒ぎを起こすことはありませんが、自閉症特有のオリジナルな価値基準、俺様のルールに家族は日々振り回されています。

これから先、本人・家族・環境など多くの変化が起こると思いますが、あさやけ作業所の大勢の先輩や職員の皆さんとの変わらぬ毎日を支えに、一希らしく暮らしていけたらと願っています。どうぞ末永くよろしくお願いします。

母 廣野ゆかり



一人暮らしはたのしい

何年も前から一人暮らしをしたいという希望が出ていた春日さん。

ここ2年程前からその希望を実現しようという動きに入り、念願かなって2017年10月グループホームを卒業し、一人暮らし開始。

「やめよっかな」「たいへんそう」とくじけそうになった時、作業所、支援センター、ホームの職員が協力し支えていき、今まで食事づくりの練習や市役所、病院に一人で行けるようになったこと等が自信になり、気持ちを切り替えて準備を進めていきました。一人暮らしを始めてから半年。春日さんに感想を聞きました。

一人暮らしは楽しいです

アパートに入る前は自分に一人暮らしなんてできるのだろうかと思ったけれど、始めてみたら意外と大きな苦勞もなくまあやってこられました。

食事は最初のころは自分でお肉を焼いたり、魚を焼いたりしていたけれど、この頃はちょっとだらけてきて、冷凍物で済ませる事が多くなってきました。週2日つくしぼにご飯を食べに行っていて、食べにおいでって呼んでくれて助かっています。

仕事から帰ってコーヒー飲んでくつろいでいる時が楽しいです。

困ったことは新聞の勧誘が来たことです。お金払えませんかって言ったら帰ったのでよかったです。

春日 潤



障害のある子どもの放課後活動

ゆうやけ子どもクラブ

40周年

コンサート

2018年7月8日(日)

【開演1時】2時～4時30分
ルネこだいら 大ホール

- 01 ■ エバリーコンサート
- 02 ■ ドキュメンタリー映画上映
「どこまでも 星といっしょだよ」
- 03 ■ 音楽構成劇～フィナーレ
「守ろう! みんなのゆうやけ子どもクラブ」

＜チケット＞
大人(中学生以上) 2000円 子ども・障がいのある人 1000円

主催：ゆうやけ子どもクラブ40周年コンサート実行委員会
後援：小平市 小平市教育委員会 小平市社会福祉協議会 小平市障害者団体連絡会 障害児の権利と生活を考える会 小平市をつなぐネットワーク 小平市障害児自立生活支援センター 小平市障害者グループ連絡会 小平市障害児の会 小平市障害児の会連絡会 障害児の権利をグループ連絡会・東京 特別支援科協議会 入会者会

— コダイラブランドの商品紹介 —

あさやけの染め・織り

シルクボーダーストール

あかねとログウッドで染めた
おしゃれなストールです。

シルク 100%
50cm x 180cm

価格 4000円



あさやけ織の台作業所 042-346-2167
ブログ：<https://blogs.yahoo.co.jp/takanodaiasayake>

廃品回収のお知らせ

3月の廃品回収の回収量は11,950kgでした。内訳は新聞8,415kg、雑誌・ダンボール 3,535kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて191,460円でした。

次回は5月19日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。